

建設業・協力会社グループの 店社一斉安全診断実施について

労働安全コンサルタント 藤村 清彦

〔資料 6〕

〔資 料〕 様式 C (本社、支店、営業所用)

安全診断報告書 (例)

実施年月日：平成 12 年 3 月 〇〇日

実施機関：(株)日本労働安全衛生コンサルタント会・東京支部

報告者：労働安全コンサルタント

〇 〇 〇 〇 印

会 社 名	〇 〇 建設 株式会社				
代 表 者 氏 名	代表 取締役 〇 〇 〇 〇				
安 全 管 理 者 等	総括安全衛生管理者	〇 〇 〇 〇	安全管理者	〇 〇 〇 〇	
	衛 生 管 理 者	〇 〇 〇 〇	産 業 医	—	
	安全衛生推進者	現場代理人級 約 10 名 (現場)			
所 在 地	〒 0000-0000 〇〇県 〇〇市 〇〇〇 0-00-00				
	TEL. 0000-00-0000		FAX. 0000-00-0000		
所 轄 監 督 署	〇〇〇 労働基準監督署				
職 員 (労働者) 数	事 務 職 員	男子 4 名	女子 2 名	合計 36 名	
	(パ ー ト)	男子 名	女子 名		
	現 業 員	男子 25 名	女子 5 名		
	(パ ー ト)	男子 名	女子 名		
災 害 発 生 状 況		平成 9 年 (1月～12月)	平成 10 年 (1月～12月)	平成 11 年 (1月～12月)	当 年 (1月～2月)
	死 亡	0	0	0	0
	休業 4 日以上	(A) 1	(B) 1	0	0
	休業 4 日未満	2	1	2	0
	不 休 件 数	3	3	2	1
災 害 発 生 の 概 要	(A) 足場組立作業中、パイプを取り込む際にバランスを崩して飛び降り、右足首を骨折した。(90日。協力会社作業員。) (B) 道路工事中に、U字溝の間に左手小指を挟まれ切傷。(7日。協力会社作業員。)				
主 な 機 械 ・ 設 備	ショベル・バックホー・ホイールローダー (0.3 級) 3 台、 ダンプカー (2～8 t) 4 台。主体はリースを活用。				
面 談 者	〇〇社長、〇〇常務、〇〇総務部長				

社団法人 日本労働安全衛生コンサルタント会

診 断 項 目	現 状 及 び 指 導 事 項
1. 会社の安全衛生管理体制の確立と整備	(現状) ・トップの基本方針として「災害ゼロ」を掲げられています。 ・前年の反省を踏まえて年度毎に「年度安全計画書」が見直し作成され、初回の安全衛生委員会で周知されています。 ・従業員は現在50人未満ですが、安全・衛生管理者はもとより、総括安全衛生管理者まで選任されています。 現場にも人材は豊富です。 ・店社による現場パトロールが月1回行われ、社長以下の役員も計画的に参加し、フォローや記録もなされています。 ・事前審査制度はありませんが、作業計画や手順書の指導には応えています。 ・店社の安全衛生委員会は毎月開催されており、全社会議も、協力会社も参加して協力的な機能も一緒に果たしています。 一次以下の場合の現場災防協等へは現場代理人や職長が下位の職長等と共に参加し、店社幹部は元方の営業所等で行われる安全衛生協力会等に参加しています。 (指導事項) ・若干の元請け工事も行っていますが、管理体制についての一次の場合との区別、及び自社内と混在の場合との区別が整理されておりません。理解の上での体制を取ってください。 ・作業計画や手順書の作成はやや現場任せのようですが、店社として指導を今後充実するために、実績資料を収集して水平展開が出来るようにしてください。
2. 災害再発防止に関する研修会等の開催状況	(現状) ・元方現場での検討会の後、店社安全衛生委員会で現場代理人が資料により状況を説明し、検討して自社なりの対策を立てています。 持ち帰った情報は他社の事例も合わせて、現場に必ず掲示し、特に類似作業についてはTBM 時にも伝達して徹底しています。 (指導事項) ・特にありません。
3. 健康診断の実施状況	(現状) ・法定健康診断は例年9月に集団で行い、参加出来なかった者は後日医院で受診させて把握しています。 ・有所見者には強く再診を促しています。 ・近年の若返り施策により、現在の平均年齢は40歳になっています。 ・専従の協力会社従業員については、同じ集団健康診断を利用させています。 (指導事項) ・近年、心の健康もいわれてきましたが、電話による「勤労者・心の健康相談（東京労災病院）」も無料で開設されているので、覚えておかれると便利です。ご利用ください。
4. 自社の安全衛生教育の実施状況	(現状) ・雇い入れ時教育は店社で実施されています。 ・安全衛生責任者教育への一定参加としては、元請けのゼネコンが行う経営者・労務担当幹部向けセミナー等に参加しています。 ・職長はゼネコンの地域営業所で行う初任時教育で資格を取り、充足しています。

	一方、能力向上教育の受講事例はまだ多くはありません。各種の有資格者は奨励と支援により毎年、専従二次も含めて増加しており、多能工化にも成功しています。記録もしっかりリストアップされています。 ・送り出し教育としては、現場における新規入場者教育を重視しています。 (指導事項) ・職長の能力向上教育（再教育）については、元方K社の支店で上級職長制度が始まるのを機会として、積極的に手を挙げて受講させてください。 - 安全・衛生管理者、推進者等については、加入している建災防〇〇支部からの開催情報を活用して、順次受講すれば良いでしょう。 ・資格の把握と同様に、教育の履修歴も店社は把握することに心がけてください。
5. 関係請負人に対する安全衛生の把握及び指導状況	(現状) 専従下位の関係請負人については、自社並みにみく把握・指導されています。貴社を一次とした場合、原則として二次までの使用を限界としているのも妥当と思われます。 (指導事項) ・二次がスポット業者を使用する場合には、中小事業主・一人親方の労災保険の特別加入についてチェックを行い、未加入の場合は本人のために今後の加入を指導してください。 ・例えば教育面でも、現場入場前の店社側で行う教育を総称して「送り出し教育」といい、元請けは一次に対して（二次以下の管理を含めて）その充実を求める傾向が強くなってますから認識してください。
6. その他の安全衛生上の措置	(現状) ・安全・衛生週間には資料等を配布して意識の高揚に努めています。 ・安全大会は、関東一円に現場が広く散在しているため店社では行なっていませんが、各現場では全員が参加し、元方の支店・営業所へは幹部を含め交互に複数で参加しています。 ・従業員は雇用保険に加入しています。 ・就業規則や36協定は監督署へ届け出られており、現場では変形労働時間制を採用しています。 ・今年はKY時に発表する等、「ヒヤリハット報告」の一層の活用を目指すなど、最前線の小集団活動にも力を入れています。 ・各現場代理人から店社へ提出される日報にも、安全衛生に関する記載欄が設けられています。 (指導事項) ・KY活動は元請け各社によって差があるとのことですが、やる以上は形に流されることなく、手法を理解して実施してください。
7. 総合所見	・特に多能工による躯体工事を得意とする専門会社で、一方地場ゼネコンにも信頼される地域性も備えています。 ・技術者の若返りと労務や機械等の外注による合理化も志向している。活力のある会社です。 今後安全衛生面に於いても、ライン機能に見合ったスタッフ機能を充実すれば、更なる労働災害発生の危険性減少が期待できるものと診断いたします。 以上

〔資料 7〕 チェックシートと追加アンケートシート

安全診断報告書

会社名：

評価 ○：有り △：内容不備 ×：無し -：該当なし

診 断 項 目	現 状 及 び 指 導 事 項	評価	
1. 会社の安全衛生管理体制の確立と整備	1 トップの基本方針の有無，周知方法，見直しの仕組みの有無 ・ 方針の決定に，それまでの安全衛生評価及び災害の原因分析の反映の有無		
	2 店社安全衛生管理計画作成の有無 ・ 管理計画の作業員及び関係請負人への周知状況		
	3 管理体制		
	(1) 本社，支店，営業所の独立性及び管理組織図の有無		
	(2) 安全管理者，衛生管理者，産業医，安全衛生推進者の選任の有無 ・ 職務の遂行状況（被選任者の適性度を含む）		
	(3) 現場への支援体制の充実度 ・ 店社現場パトロールの実施計画の有無（頻度，構成員，記録の保存等） ・ 作業計画の指導，事前審査の有無 ・ 店社幹部の現場災防協への参加（ミニ災防協の実施の有無）		
	(4) 現場の安全衛生責任者の選任基準の有無 ・ 選任報告書の元方への提出の有無		
	(5) 職務権限の明確化（管理規定の有無及び周知状況）		
	4 店社安全衛生委員会（安全衛生会議）の開催の有無 ・ 記録の保存（参加者のサイン等） ・ 構成員の状況（現場関係者の参加の有無） ・ 審議内容（現場の災害防止活動への反映度）		
	5 その他		
	2. 災害再発防止に関する研修会等の開催状況	1 店社における災害検討会の開催の有無 ・ 災害発生時，定期研修会の実施の有無 ・ 記録の保存	
		2 災害事故内容の現場での掲示の有無（会社指示）	
3 その他			
3. 健康診断の実施状況	1 法定健康診断の実施状況（雇い入れ時，定期，特殊，特定業務）		
	2 実施結果の監督署への報告の有無		
	3 未受診者の処置		
	4 有所見者の処置 ・ 再診の有無 ・ 適性配置通知書（高齢者の配慮も含む）の作成と元方への提出の有無		
	5 個人票の管理状況		
	6 下位の協力会社の実施状況の把握（産業保険センターの活用等）		
	7 その他		

診断指導事例

診断項目	・ 現 状 及 び 指 導 事 項	評価
4. 自社の安全衛生教育の実施状況	1 雇い入れ時教育	
	2 安全衛生責任者への一定教育の有無	
	3 職長教育の充足率	
	・能力向上教育に準じた教育（再教育）の有無	
	4 就業制限等の有資格者の充足率	
	・能力向上教育の有無（作業主任含む）	
	5 安全管理者、衛生管理者、安全衛生推進者の能力向上教育の有無	
	6 作業員に対する現場入場させる際の「送りだし教育」の有無	
	7 上記事項について、下位の協力会社の教育実施状況の把握	
	8 各教育記録書の有無	
5. 関係請負人に対する安全衛生の把握及び指導状況	9 その他	
	協力会社の個別管理の把握・指導	
	1 安全管理者、衛生管理者、産業医、安全衛生推進者の選任	
	2 管理規程の有無、及び作成指導	
	3 安全衛生会議等の実施の有無	
	4 安全衛生教育の実態（職長、雇い入れ時、送り出し教育等）	
	5 能力向上教育の有無	
	6 有資格者の充足度	
	7 店社によるパトロール状況	
	8 健康診断の実施状況	
	9 中小事業主、一人親方の現場就労状況および労災保険の特別加入の有無、奨励の有無	
	10 元方、監督署への提出・届出書類	
	11 労務管理状況	
6. その他の安全衛生上の措置	12 上記事項についての協力会社の評価（基準）の有無	
	13 その他	
	1 自社で定めた安全活動事項（安全勉強会、ヒヤリ・ハット運動等）	
	2 作業員の労務管理	
	・就業規則の有無及び監督署への届出の有無	
	・雇用管理責任者の選任の有無	
	・労働条件通知書の交付の有無	
	・労働者名簿（個人票）の作成	
	・雇用保険の加入の有無	
7. 総合所見	・36協定の届出の有無	
	・その他	
	3. その他	

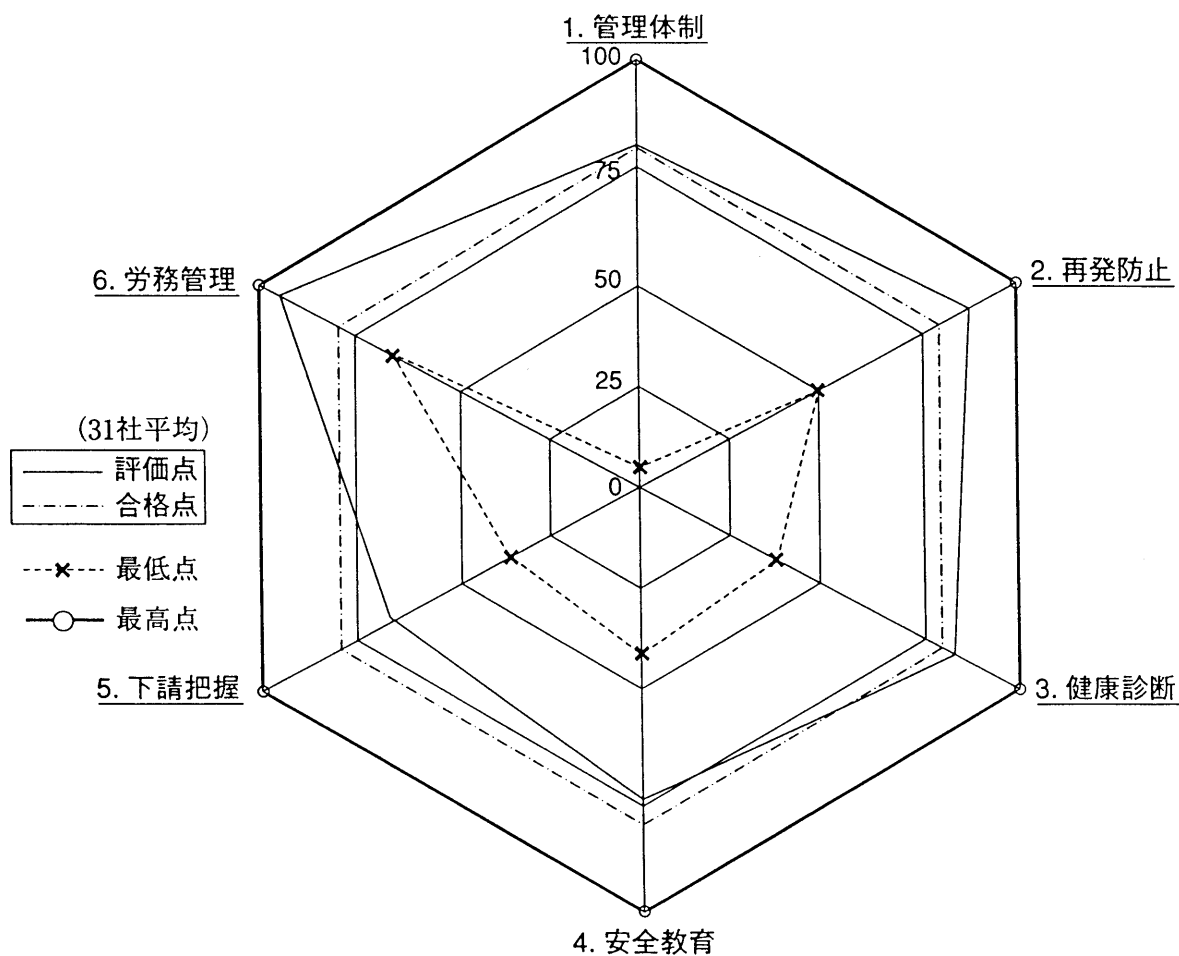
[社団法人 日本労働安全衛生コンサルタント会]

〔資料 8〕 (取扱注意)

レーダーグラフ

全社平均

項 目	1. 管理体制	2. 再発防止	3. 健康診断	4. 安全教育	5. 下請把握	6. 労務管理
評 価 点	80.6	88.8	83.7	78.2	69.5	95.5
合 格 点	80	80	80	80	80	80



【講評】

- | | |
|--------------|---------------------------|
| 1. 管理体制：（良好） | 各管理者等の選任・周知・届出及び産業医の選任を行う |
| 2. 再発防止：（良好） | 定期的に自社で開催し記録する |
| 3. 健康診断：（良好） | 適性配置通知書の記録と元方への報告する |
| 4. 安全教育：（良） | 送り出し教育の記録を元方への報告する |
| 5. 下請把握：（可） | 管理一覧を作成し把握・指導する |
| 6. 労務管理：（優良） | ヒヤリ・ハット運動の活性化をする |
| 7. 総合所見：（良好） | 会社に適した体系を整備しスタッフ機能を充実する |

凡例

優良：90～100／良好：80～90未満／良：70～80未満

可：60～70未満／不可：60未満